

障がいが重くても、医療的ケアが必要でも地域で暮らす。
そんな当たり前のことを実現するため、自宅でも施設でもない第3の
生活の場として徐々に広がりつつあるケアホーム。そこでの暮らしが
どうなっているのか、全国のケアホームを訪ね歩いた支援者と、実際
に利用している方の親の立場からの報告です。



重度だって ケアホーム

～重症心身障害や医療的ケアが必要な人たちの地域での暮らし方～

日 時： **11月6日**（日） 開場 13：00 開演 13：30～16：00

会 場： 桐生市市民文化会館 4F 第1研修会議室
（桐生市織姫町2-5）

講演内容：「重度障がい者のケアホームの現状」 下川和洋氏

「ケアホーム利用を始めて～子どもの変化・親の気持ち」
加藤富美子氏（ケアホームを利用されている方の保護者）

資料代：500円



講師紹介：下川和洋氏

（東京都立八王子東特別支援学校教員。NPO法人地域ケアさぽーと研究所理事。）

初任地である村山養護学校に赴任以来、重い障がいのある児童生徒たちの教育に携わる。その後、訪問学級の担任をする中で、医療的ケアの問題に深くかかわることになり、学校教育における医療的ケアの定着に尽力。2007年には支援学校卒業後の豊かな地域生活を保障するために「地域ケアさぽーと研究所」を設立。地域の福祉関係、医療関係者を対象とした研修会の開催など、多方面にわたって活躍されています。

HPアドレス <http://homepage3.nifty.com/kazu-page/>

障がいのあるお子さんも会場内に一緒にお入りください。医療的ケアの必要な方は会場内に看護師が待機しますので受付に声をかけてください。

問い合わせはメールで米田（まいた）まで gueca-solo92@coral.plala.or.jp